

認知症支援 の手引き



白岡市

はじめに

「認知症」という病気は、以前に比べるとよく知られるようになってきました。

厚生労働省では、平成24年(2012年)の段階で、要介護認定を受けている人の中で、認知症と診断を受けている人は全国で305万人、65歳以上の人口の9.9%に達し、令和7年(2025年)には、470万人に達すると発表しています。

また、今後、認知症になり得る可能性がある人は、約400万人と推計されています。

今後、わが国の高齢化がますます進んでいくことから、認知症の人をいかに支えていくかは、地域福祉における重要なテーマとなっており、白岡市としても認知症の人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心できるよう、認知症支援の手引き(状態に応じた適切なサービス提供の流れ)の作成と普及をより推進していきたいと考えています。

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、この「認知症支援の手引き」をご活用ください。

*** 目次 ***

1	認知症とはどんな病気？	・・・ 4
2	認知症かな？と思ったら	・・・ 6
3	チェックリスト	・・・ 7
4	認知症の人への接し方	・・・ 8
5	私たちにできること	・・・10
6	白岡市認知症支援の手引き ー認知症の経過と対応ー	・・・11
7	相談窓口	・・・12
8	各種サービス	・・・14

1 認知症とはどんな病気？

認知症の定義

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きの悪くなったためにさまざまな障害が起こる病気です。日常生活をするうえで支障が出ている状態が、おおよそ6か月以上継続しているものをいいます。

主な認知症の種類と特徴

アルツハイマー型認知症

●どんな病気？

認知症の中で最も多く、全体の6割を占める病気です。
原因は、はっきりとしていませんが、脳の神経細胞が徐々に減少していき、それにより脳が萎縮（縮んで小さくなること）するために起こる病気です。

●主な症状は？

初期には、もの忘れが徐々に現れ、ゆっくりと進むのが特徴です。昔の記憶は残っていますが、最近のことは覚えていることができません。

判断力の低下、時間や場所がわからなくなるなどの症状のほか、物を盗られる妄想、不安やイライラ、あちこち歩き回る、暴言や暴力などさまざまな症状が現れます。



レビー小体型認知症

●どんな病気？

原因は分かっていますが、レビー小体という特殊なたんぱく質が、脳の神経細胞の中にたまることによって起こる病気です。

●主な症状は？

初期の段階から、もの忘れに加えて、「実際にはないものが見える」というような幻視、「壁のシミが虫に見える」「洋服が人の姿に見える」などの錯視の症状がみられます。

これらの症状は、暗くなると現れやすくなります。

この病気の特徴としては、身体や表情が硬くなる、動きがぎこちなくなる、手が震えるなどの運動機能障害や、立ちくらみなどを引き起こす自律神経障害を伴うことが挙げられます。

前頭側頭型認知症

●どんな病気？

脳の前頭葉や側頭葉前方で、神経細胞が減少し、脳の萎縮が目立つのが特徴です。病気の進行に伴って脳の萎縮がみられることはアルツハイマー型と同じですが、萎縮する部分が違います。65歳未満の若年性の発症が多いのも特徴の一つです。

この病気を最初に報告した医師の名前から、別名「ピック病」とも呼ばれています。

●主な症状は？

初期には、もの忘れなどの「記憶障害」が現れにくいですが、抑制が欠如し、遠慮がなくなったり、暴力的になるなどの性格の変化が主な症状として現れるのが特徴です。

これまで何の問題もなかった人が、突然、万引きや信号無視など、異常な行動をすることから症状が始まることが多いのも特徴です。

何かに関するこだわりが異常に強くなり、柔軟な対応ができず、好き勝手に行動しているように見えることもあります。

脳血管性認知症

●どんな病気？

脳梗塞や脳出血によって、脳細胞に十分な血液がいきわたらなくなり、脳細胞が部分的に死んでしまうことで起きる病気です。

●主な症状は？

脳が損傷を受けた場所によりますが、歩けなくなったり、手足のマヒ、呂律が回りにくい、感情のコントロールができなくなる等の症状が早期からみられることがあります。

特徴として、もの忘れが強いのに、判断力や理解力は問題なく保たれているなど「まだら認知症」と呼ばれる場合もあります。

このほか、

- 髄液に脳が圧迫される『正常圧水頭症』
 - 脳の中に血液の塊ができ脳が圧迫される『慢性硬膜下血腫』
 - 甲状腺ホルモンの分泌が低下して認知症状が出る『甲状腺機能低下症』
- それ以外にも頭部の病気やケガなど様々な原因で発症することがあります。

2 認知症かな？と思ったら

認知症は、めずらしい病気ではなく、誰にでも起こり得る病気です。

家族の誰かが認知症になっても不思議ではないのです。

認知症といっても様々な原因から起こりますので、「何かがおかしいかな？」と思ったら、まずはかかりつけ医や精神科医などへ相談し、専門家のアドバイスを受け、適切な医療機関への受診を行うことが大切です。

早期発見・早期診断が大切です！

早期の診断や治療が大切なわけ

家族に気になる症状があったとき「きっと年のせいだ」「まさか自分の家族が認知症になるなんて」などと考えて、病院に行くことをためらう人は少なくないと思いますが、これは誤った考え方です。

認知症の場合でも、早く診断し、適切な治療や内服を早い段階から行うことで、症状が改善したり、進行を遅らせることができます。

治る病気や一時的な症状の場合があります

正常圧水頭症や脳腫瘍、慢性硬膜下血腫などの場合、手術などの脳外科的な処置で劇的に良くなる場合もあります。

甲状腺ホルモン異常の場合は、内服など内科的な治療で良くなります。

副作用など、薬の使用が原因で認知症のような症状が出た場合は、主治医と相談のうえで薬をやめるか調整すれば回復します。

このような病気の場合でも、長い期間そのまま放っておいた場合には、脳の細胞が死んだり、恒久的な機能不全になってしまい回復できなくなります。

早い時期に受診することのメリット

アルツハイマー型など、治療をしても完治することが難しい病気の場合でも、薬で進行を遅らせることができます。治療によって「表情が穏やかになった」「電話や買い物ができるようになった」「忘れて聞き返す回数が減った」などの効果が見られることもあるため、早く治療を始めることが有効となります。

また、本人が病気を理解できるうちに受診をし、少しずつ理解を深めていくことで生活上の障害を軽減でき、その後のトラブルを防ぐことも可能です。

＊＊ご家族へ＊＊

認知症と診断をされても、慌てず騒がないことが第一です。

医療機関へ受診・相談をする際には、家族の冷静な情報がとても大切です。

日常から、いつ・どこで・何が起こったのかなどを記録しておくことで相談するときに便利です。

本人と家族が穏やかで心地よい生活を送れるよう、冷静な対応を心がけましょう。

こんなことはありませんか？ 認知症に早く気づくための

3 チェックリスト

これは認知症の初期によくみられる症状をまとめたものです。
ご自身や家族のかたで、次の項目に一つでも該当する場合は、
かかりつけ医や地域包括支援センターに相談することをお勧めします。
さらに定期的な自己チェックをお勧めします。



- ☐ 直前にしたことや話したことを忘れてしまう
- ☐ なんども同じことを聞いたり、言ったりする
- ☐ よく知っている人の名前が思い出せない
- ☐ 買い物に行くたびに同じものを買ってくる
- ☐ 財布の中が小銭でいっぱいになっている。(お金の勘定ができない)
- ☐ 薬を決まった時間に、決まった量を飲むことができない
- ☐ 好きだったことに興味や関心がなくなる
- ☐ 財布や鍵など、物を置いた場所が分からなくなることがある
- ☐ 自宅から散歩に出て、何度も道に迷ってしまうことがある
- ☐ 以前と雰囲気や性格が変わってきたようにみられる

4 認知症の人への接し方

認知症の人だからといって、つきあいを基本的には変える必要はありませんが、認知症の人と接するときは、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切となります。

なお、ふだんから住民同士が挨拶や声かけに努めることも大切です。日常的にさりげない言葉を心がけることは、いざというときの的確な対応に役立つでしょう。

認知症の人への対応の心得 3つの 《ない》

- ① 驚かせない ② 急がせない ③ 自尊心を傷つけない

対応の7つのポイント

① まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守りましょう。近づきすぎたり、ジロジロ見るのは禁物です。

② 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

③ 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声かけを行います。

④ 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ってから声をかけます。唐突な声かけは禁物です。

⑤ 相手の目線に合わせてやさしい口調で

小柄な人の場合は、身体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

⑥ おだやかに、はっきりと

高齢者は声が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。

⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する。

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。

参考：全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう」

認知症の介護のポイント

認知症の症状の中で、脳の記憶する機能が低下することにより、日常生活に支障のある症状が現れます。認知症のかたを家庭で介護するには、状態に合わせた介護の方法を選び、工夫していくことが大切です。

こんなときどうする？



人に会う約束などを忘れてしまうことがある

大事なことや出来事はメモに書きとめる

メモは、本人の目にとまる場所に張り紙をするなどの工夫をしておくと思い出しやすくなります

メモした内容を思い出せないようなら、さりげなく教えてあげましょう。



食事をしたのに、『食事をしていない』と言う

説得しようとしな

食事を済ませたということ自体を忘れてしまっています。食事を済ませていることを分らせようとしても、かえって不満や不信感を抱いてしまいます。

いったん気持ちを受け止めて、お茶を出すなど気持ちの転換を促しましょう。

そのうち、忘れて気持ちがかわることがあります。



自分の家にいるのに『家に帰る』と言い、外出しようとする

無理に止めようとしな

出かける準備を一緒に行うなどして、別なことを行うことで気が紛れて外出することを忘れることがあります。どうしても出かけたいというときは一緒に出かけて、公園などへ散歩に行き、話をしながら歩けば気分転換ができて効果的です。



5 私たちにできること

認知症になっても、いきいきと生活できる、住みやすいまちを作るには、家族や近所の人だけでなく、商店や交通機関、金融機関など、地域で働く人も含めて、正しく認知症を理解することが大切です。

日常に関わる人の正しい理解と協力は、認知症の人にとって大きな支えとなるだけでなく、気軽に出かけることができるなど、安心して自分らしい生活が続けることにつながります。

認知症サポーターになりませんか

認知症サポーターは、認知症のことを正しく理解している認知症の人の『応援者』で、何か特別な活動をするということではありません。

たとえば…

- ・近所に住んでいる認知症の人に、困っている様子が見えたとき、
「何かお手伝いしましょうか？」など優しく声をかけてみる。
- ・買い物の支払いで、計算ができなかったり、お金を出すのに時間がかかってしまうときなど、
急がせずに認知症の人のペースで対応する。
など、自分にできる対応を考え、実践してみてください。

「認知症サポーター養成講座」を開催しています！

認知症について詳しい内容の講座を行います。

講座時間は1時間30分程度です。

自治会やボランティアグループ等10名程度のかたが集まれば開催いたします。お気軽にご相談ください。



出前講座で勉強しよう

「認知症になったら、どんなサービスを受けたいの？」「介護保険サービスって何があるの？」など、聞いたことはあるけど、具体的な内容はよく分からないという疑問をお持ちのかたも多いのではないのでしょうか？

介護保険のことなど、老人会や地域での集まりの場を利用して、勉強してみたいという要望がある場合は、担当職員が地域に出向き、介護保険についての「出前講座」をご利用ください。

認知症サポーター養成講座・出前講座に関する相談は…

高齢介護課 地域支援担当 92-1111 内線173・174・175

6 認知症支援の手引き～認知症の経過と対応～

認知症支援の手引きは、状態に応じた適切なサービス提供の流れを、表にまとめたものです。市にあるサービスや社会資源を把握し、今後を見通す参考にしてください。

本人の様子		認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
		☐ 金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している	☐ 買い物や金銭管理等にミスが見られるが、日常生活はほぼ自立している ☐ 新しいことがなかなか覚えられない	☐ 服薬管理ができない ☐ 電話の対応や訪問者の対応などが1人では難しい ☐ たびたび道に迷う ☐ 買い物など今まで出来たことにミスが目立つ	☐ 着替えや食事、排泄等がうまく出来ない ☐ 物を盗られたと言いだす ☐ 日時・場所・季節などが分からなくなった	☐ ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい ☐ 言葉による会話ができない
やっておきたいこと・決めておきたいこと (ご家族へのお願い)		☐ 認知症を予防するため正しい生活を送りましょう ☐ 認知症に関する正しい知や理解を深めておきましょう ☐ 今後の生活設計についてえてみましょう	☐ 医療や介護について勉強しましょう …認知症を引き起こす病気により今後の経過や介護の方法が異なります。間違った対応は、本人の症状を悪化させる原因にもなります。周囲が適切に対応することによりおだやかな経過をたどることも可能です。 ☐ 失敗しないように手助けしましょう …今まで出来たことが少しずつ出来なくなり失敗が増えてきます。失敗体験は本人の自信を喪失させ、症状を悪化させることもあるので、失敗を最小限にするようさりげないフォローをしましょう。 ☐ 介護保険サービスなどを利用しましょう …戸惑うことや介護負担によるストレスがたまってきます。介護保険制度を上手く利用して、過度の負担にならないようにしましょう。介護保険サービスの詳細については別紙を参照してください。			
認知症の人を支援する体制等	予防	介護予防教室 (シニア元気アップ教室) 特技や趣味を活かした活動(老人福祉センター・いきいきサロン・老人クラブ・シルバー人材センター)				
	医療・介護	認知症についての診断を受けるには かかりつけ医・認知症疾患医療センターへ受診(P13を参照) 自宅まで医師や看護師さんが来てくれる(訪問診療・訪問看護) ☐ 自宅で食事、入浴、買い物、掃除などの身体介護や生活支援サービスを利用する ☐ 通いでレクリエーションや入浴、食事などのサービスを利用する				
	生活支援・家族支援	☐ 配食サービス(市・社会福祉協議会) ☐ 状態の急変などが心配(緊急時通報システム) ☐ 排泄で失敗してしまう(紙おむつ等給付事業) ☐ 外出が難しい(のりあい交通) ☐ お金の管理が出来ない(成年後見制度など) ☐ ゴミ出しが出来ない(ふれあい収集) ☐ 簡単な手伝いを依頼したい(シルバー人材センター) ☐ 介護の相談がしたい(地域包括支援センター) ☐ 行方不明の対応(徘徊高齢者等SOSネットワーク・はいかい高齢者等家族支援サービス)				
	住まい	見守りサービスなどがある住宅に住む (サービス付高齢者向け住宅・ケアハウス・介護付有料老人ホーム) 施設で介護を受ける(介護老人福祉施設) 家庭的な環境で共同生活を送る(グループホーム) 通いを中心とした訪問や泊まりのサービスを利用する(小規模多機能型居宅介護)				

7 相談窓口

①地域包括支援センター(市内2か所)

認知症に関する総合相談窓口です。認知症の人やその家族だけでなく、近所に住んでいる心配な人の情報や相談なども広く受け付けていますので、気軽にご相談ください。

地域包括支援センターぽっかぽか
【電話】0480-93-8877
【住所】上野田357番地1
【担当圏域】日勝圏域

地域包括支援センターウエルシアハウス
【電話】0480-90-3022
【住所】白岡1143番地1
【担当圏域】篠津・大山圏域

日 勝 圏 域	岡泉・実ヶ谷・千駄野・小久喜・上野田・下野田・爪田ヶ谷・太田新井・彦兵衛
篠津・大山圏域	篠津・野牛・高岩・新白岡・寺塚・白岡・白岡東・西・柴山・荒井新田・下大崎

②福祉の総合相談窓口

福祉に関する様々な相談ができる窓口です。
困りごとを伺い、課題や問題を整理して、利用できる福祉制度につなぎます。

- ① 白岡市社会福祉協議会(白岡市保健福祉総合センター(はぴすしらおか)内)
【電話】0480-92-1746
- ② 白岡市役所 福祉課社会福祉担当
【電話】0480-92-1111 (内線)563・564
- ①・②【受付】 月～金(祝日・年末年始を除く)8:30～17:15

③市内の認知症専門医療機関

市内で認知症専門の診療を行っている医療機関です。

新しらおか病院 【電話】0480-90-5550
 【住所】上野田1267-1
 【受付】月～金 9:30～12:00、15:30～17:00

④認知症サポート医

埼玉県では、一般社団法人埼玉県医師会と連携し、認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言やその他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医の養成を推進しています。

【認知症サポート医について(埼玉県ホームページ)】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/ninchisyosesaku/sapotoi>

⑤成年後見サポートセンター

認知症や障がいなどにより、一人で決めることが心配な方や、将来に不安があるかたの相談をお受けしています。

白岡市社会福祉協議会(白岡市保健福祉総合センター(はぴすしらおか)内)
【電話】0480-92-1746
【受付】月～金(祝日・年末年始を除く)8:30～17:15

⑥認知症疾患医療センター(県内10か所)

認知症疾患医療センターは、認知症についての専門医療相談、鑑別診断と認知症に伴う行動及び心理状態への初期対応、合併症への対応を行う医療機関です。

久喜すずのき病院	【電話】 0480-23-3300 【住所】 久喜市北青柳1366-1 【受付】 月～土 9:00～11:45、13:30～15:00(※日祝日を除く)
武里病院	【電話】 0120-8343-56 【住所】 春日部市下大増新田9-3 【受付】 月～土 9:00～12:00、13:00～17:00
埼玉精神神経センター	【電話】 048-857-6811 【住所】 さいたま市中央区本町東6-11-1 【受付】 月～土 9:00～17:00 (※日祝日を除く)
埼玉県済生会鴻巣病院	【電話】 048-501-7191 【住所】 鴻巣市八幡田849 【受付】 月～金 8:00～11:00、11:30～15:00 (※土日祝日を除く。土は午前のみ)
戸田病院	【電話】 048-433-0090 【住所】 戸田市新曽南3-4-25 【受付】 月～土 8:30～17:00 (※日祝日を除く)
菅野病院	【電話】 048-464-6655 【住所】 和光市本町28-3 【受付】 月～金 9:00～17:00 (※土日祝日を除く)
狭山尚寿会病院	【電話】 04-2957-1202 【住所】 狭山市大字水野600 【受付】 月～金 9:00～17:00 (※土日祝日を除く)
西熊谷病院	【電話】 048-599-0930 【住所】 熊谷市石原572 【受付】 月～金 9:00～17:00 (※土日祝日を除く)
丸木記念福祉メディカルセンター	【電話】 049-276-1486 【住所】 入間郡毛呂山町毛呂本郷38 【受付】 月～金 9:00～17:00 (※土日祝日を除く)
つむぎ診療所	【電話】 0494-22-9366 【住所】 秩父市寺尾1404 【受付】 要問合せ

8 各種サービス

①介護保険サービス

通所介護(デイサービス)

食事、入浴などの介護や、機能訓練などを日帰りで受けられます。

認知症対応型通所介護

認知症の高齢者が、食事、入浴等の介護や、機能訓練などを日帰りで受けられます。

通所リハビリテーション(デイケア)

介護老人保健施設や医療機関で、食事、入浴などの介護や身体機能の向上を目的としたリハビリテーションを日帰りで受けられます。

訪問介護

ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や、調理、買い物、洗濯、掃除などの家事援助を行います。
通院などを目的とした乗降介助も利用できます。

訪問看護

疾患などを抱えている人について、看護師などが自宅を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行います。

訪問リハビリテーション

身体機能の向上を目的として、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などが訪問してリハビリテーションを行います。

訪問入浴介護

介護職員と看護職員が自宅を訪問し、浴槽を提供して入浴介助を行います。

短期入所生活介護(ショートステイ)

介護老人福祉施設などに短期入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練などが受けられます。

小規模多機能型居宅介護

小規模な住居型の施設で、通いを中心としながら訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて、食事や入浴などの多様なサービスを受けられます。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

1日複数回の定期巡回訪問や利用者からの要請に対して随時の訪問を行い、利用者の心身の状態について介護・看護の視点から継続的にアセスメント(評価)し、提供時間の長さや頻度を柔軟に変更しながら必要なサービスを受けられます。

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

常に介護が必要で、自宅での生活が困難な方が入所して、日常生活上の支援や介護が受けられます。

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が、共同生活をする住居で、日常生活上の世話や機能訓練などが受けられます。

◇問合せ 担当のケアマネジャー、地域包括支援センター、市高齢介護課

②行政サービス

配食サービス

65歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯などで、傷病等により食事作りが困難な、要介護・要支援・事業対象者の認定を受けている高齢者に対して、食事を自宅へ配達します。

その際、本人の見守り(安否確認)を併せて行います。

◇問合せ 高齢介護課 地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174

緊急時通報システム

ひとり暮らしの高齢者等の日常生活の緊急事態における不安を解消するため、ボタンを押すと受信センターと連絡がとれる通報装置を設置(貸与)します。

◇問合せ 高齢介護課 地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174

紙おむつ等給付事業

在宅で紙おむつを使用し、白岡市に住民票がある本市の介護保険被保険者(ただし市民税非課税の方)で、要介護認定を受け、排せつ等で介護が必要な方に対して紙おむつ等を給付しています。

◇問合せ 高齢介護課 地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174

のりあい交通

利用者があらかじめ予約をして、同じ方面に行く人と乗りあいながら目的地に移動する交通機関です。利用には、あらかじめ利用者登録が必要です。

◇問合せ 地域振興課 交通政策室 電話0480-92-1111(内線)382

徘徊高齢者等SOSネットワーク

認知症などの症状で自宅に戻れず行方不明になってしまったかたに対して、県内外市町村と連携(行方不明者の情報提供を行う)をとり、行方不明者の早期発見に努めます。

◇問合せ 高齢介護課 地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174

高齢者補聴器補助事業

両耳の聴力が40デシベル以上で、聴覚障害の身体障がい者手帳をおもちでないかたの補聴器購入費の助成を行います。

購入する前に下記に問合せをしてください。

◇問合せ 高齢介護課地域支援担当 電話0480-92-1111 (内線)174

シニア元気アップ教室

介護予防運動指導員などの専門のスタッフが個別の計画を作成し、筋力向上のためのトレーニング、健だま運動、栄養講座、口腔機能講座、脳トレを行います。

なお、教室の内容や募集内容については、「広報しらおか」でお知らせします。

◇問合せ 高齢介護課 地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174



③その他

ふれあい収集

自らがごみを集積所まで持ち出すことが困難であり、身近な人などの協力を得ることができない高齢者に対して、ごみの戸別収集をしています。

◇問合せ 蓮田白岡衛生組合 廃棄物対策課 電話0480-92-8839

いきいきサロン

地域の方々が出会い、交流をして楽しい時間を過ごしなが、仲間づくりや生きがいを感じられるようなサロン活動をしています。この事業は地域の誰もが自由に参加できる気軽な交流の場です。

◇問合せ 社会福祉協議会 電話0480-92-1746

あんしんサポートねっと

判断能力の不十分な高齢者などが安心して生活を送れるように、定期的に訪問し、福祉サービスの利用の援助や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いをします。

◇問合せ 社会福祉協議会 電話0480-92-1746

配食サービス

ひとり暮らし高齢者や要支援の人に対して、調理ボランティアのかたが作ったお弁当(昼食)を配食ボランティアのかたが自宅へ配達します。

◇問合せ 社会福祉協議会 電話0480-92-1746

老人クラブ

明るい長寿社会をつくるために、高齢者の知識と経験を活かし、生きがいと健康づくり、社会参加活動などを行っている自主的な組織です。

◇問合せ 白岡市老人クラブ連合会事務局 電話0480-92-1746
(社会福祉協議会内)

成年後見制度

成年後見制度とは、認知症などで判断能力の不十分なかたを支援するために、家庭裁判所が成年後見人等を選び、この成年後見人等が財産管理や身上監護などを本人に代わって行う制度です。

◇問合せ さいたま家庭裁判所久喜出張所 電話0480-21-0157

サービス付き高齢者向け住宅

サービス付き高齢者向け住宅は、原則25㎡以上の床面積をもつバリアフリー住宅で、安否確認や生活相談サービスを受けることができます。

介護が必要になった場合は、外部の介護保険サービスを利用することができます。

◇問合せ 高齢介護課 介護認定給付担当 電話0480-92-1111
(内線)178・179

ケアハウス

日常生活を行うことができるが、身体機能が低下しつつあり、自立した生活が心配な高齢者を対象に低額な料金で入所し、生活相談や食事、入浴サービスを受けることができます。

◇問合せ 高齢介護課介護認定給付担当 電話0480-92-1111（内線）178・179

介護付有料老人ホーム

特定施設入居者生活介護の指定を受けた有料老人ホームで、施設で能力に応じた自立した生活ができるように、入浴・排せつ・食事等の介護その他日常生活上の世話、機能訓練・療養上の世話を受けることができます。

◇問合せ 高齢介護課介護認定給付担当 電話0480-92-1111（内線）178・179

老人福祉センター

地域の高齢者のかたが、健康な毎日を過ごすための施設で、健康増進、教養の向上およびレクリエーションの場として利用できます。

- ・利用時間 午前9時30分から午後4時まで
- ・利用料金

利用者	料金
60歳以上(6市町に居住のかた)	無料
60歳未満(6市町に居住のかた)	100円
6市町以外に居住のかた	300円

※白岡市・久喜市・蓮田市・幸手市・宮代町・杉戸町

- ・休館日 月曜日、祝日、12月28日から1月5日まで

◇問合せ 老人福祉センター 電話0480-92-1205

オレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症のかたやその家族、地域住民等が参加し、集える場です。色々なかたと交流を深めたり、レクリエーションへの参加などを、飲食をしながら気楽に行う場として実施しています。また、認知症に対する相談などもできますのでご活用ください。

◇問合せ 高齢介護課地域支援担当 電話0480-92-1111(内線)174

エンディングノートを配布しています

これまでの人生を振り返りながら、今後の人生をどのように自分らしく生きていくかを考え、自身の希望や思い、自分自身に関する情報などをまとめ、御家族や大切な方に伝えるための手段の一つとして御活用ください。

【配布場所】

- ①市高齢介護課(市役所1階)
- ②地域包括支援センターぽっかぽか(上野田357-1)
- ③地域包括支援センターウエルシアハウス(白岡1143-1)
- ④老人福祉センター(高岩2177)
- ⑤介護予防事業拠点施設いきいきさぽーと(高岩2177-1)

MEMO

編輯・事務局

担 当 健康福祉部高齢介護課地域支援担当
電 話 0480-92-1111(代表)内線173・174・175
E-mail koureikaigo@city.shiraoka.lg.jp

令和7年 4月 発行

認知症に関する相談窓口

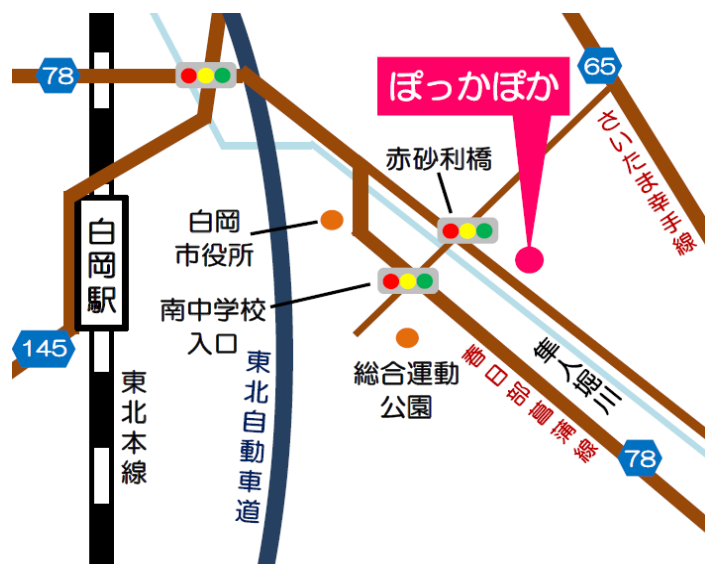
①地域包括支援センターぽっかぽか

【住所】白岡市上野田357番地1

【電話】0480-93-8877

【担当】日勝圈域

岡泉、実ヶ谷、千駄野、小久喜、上野田、下野田、爪田ヶ谷、太田新井、彦兵衛



②地域包括支援センターウエルシアハウス

【住所】白岡市白岡1143番地1

【電話】0480-90-3022

【担当】篠津・大山圏域

篠津、野牛、高岩、新白岡、寺塚、白岡、白岡東、西、柴山、荒井新田、下大崎

